

帯状疱疹予防接種についてのワクチン比較表（令和 7 年 3 月改定）

種類	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
接種回数	1 回（皮下注射）	2 回（筋肉内注射）
接種間隔		2 回目接種は、1 回目接種から 2 カ月以上の間隔を置いて行う。 ※病気や治療により、免疫の機能が低下した、または低下する可能性がある方等、医師が早期の接種が必要と判断した場合、1 カ月以上の間隔をおいて接種可能。
帯状疱疹の発症予防効果（有効性）	接種後、5 年程度の発症予防効果がある。 発症予防効果が中程度である。 50歳代　：69.8％ 60歳代　：64％ 70歳代　：41％ 80歳以上：18％	2 回接種後、11年以上の発症予防効果がある。 発症予防効果が非常に高い。 50歳代　：96.6％ 60歳代　：97.4％ 70歳代　：91.3％ 80歳以上：91.4％
帯状疱疹後神経痛の発症予防効果	60歳以上：66.5％	50歳以上：100％ 70歳以上：85.5％
主な副反応	・接種部位の発赤（約40％） ・注射部位のそう痒感（約30％） ・注射部位の熱感、腫脹、疼痛、硬結（約10％） ・アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎（頻度不明）	・注射部位の疼痛（約80％） ・筋肉痛や疲労、注射部位の発赤（約30％） ・頭痛や悪寒、発熱、注射部位の腫脹（約20％） ・そう痒感、倦怠感、その他の疼痛（約10％） ・ショック、アナフィラキシー（頻度不明）
接種を受けることができない方	・明らかな発熱がある者 ・重篤な急性疾患にかかっている者 ・本剤の成分でアナフィラキシーを呈したことがある者 ・免疫機能に異常のある疾患を有する者および免疫抑制をきたす治療を受けている者 ・上記の他、予防接種を行うことが不適当な状態にある者	・明らかな発熱がある者 ・重篤な急性疾患にかかっている者 ・本剤の成分でアナフィラキシーを呈したことがある者 ・上記の他、予防接種を行うことが不適当な状態にある者
接種に注意が必要な方	・輸血やガンマグロブリン製剤を投与した者	・血小板減少症や凝固障害を有する者 ・抗凝固療法を実施されている者
他のワクチンとの接種間隔	・医師が必要と認めた場合、同時接種することができる。 ・他の注射生ワクチンの接種を受けた場合は、27日以上間隔をあける必要がある。	・医師が必要と認めた場合、同時接種することができる。

※参考文献：製品添付文書（乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」）
製品添付文書（乾燥組換え帯状疱疹ワクチン「シングリックス」）
第4回厚生科学審議会予防接種ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会（資料2-1）
第8回厚生科学審議会予防接種ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会（資料5、参考資料8）
SHINGRIX　ZOSTER-049試験
ZOSTAVAXのSPS・STPS・LTPS試験（50歳代はZEST試験）